

ニュースリリース 関係者各位

2011年12月16日

一般社団法人日本電子書籍出版社協会

日本電子書籍出版社協会（略称：電書協）

EPUB ビューア検証チームを発足

既に様々なフォーマット（データ形式）の存在する電子書籍ですが、本年10月、IDPF（International Digital Publishing Forum）により本格的に多国語対応したEPUB3.0の仕様が承認され、国内でも今後有力なフォーマットの一つになると予想されています。EPUBの採用を公言するビューアメーカー、電子書籍書店も次々登場し、各ビューアメーカーもEPUB用ビューアの開発を積極的に進めています。しかしながら、あるビューアではEPUB3.0の仕様書に定義されているのにもかかわらず特定のタグを解釈できず、他のビューアではプログラム側の仕様外の拡張のため、出版社が想定した書籍の表示が崩れる危険性がある、など、書籍の表示がEPUBの仕様ではなく、それぞれのビューアごとの仕様に依存する割合が少なくないこと、同じデータにも関わらずビューアによって表示に違いが表れる危険性を孕んでいることが明らかになってきました。

そこで電書協では、フォーマット&リーダー委員会、「電子文庫パブリ」運営委員会など従来から常時設置している4委員会とは別に、集中審議を行う特別チームとして、協会内にEPUBビューア検証チームを発足させました。

この検証チームでは、

1. 出版社としてEPUBファイルが、どのような見え方になることが必要なのか、協会内各社から機能、項目ごとに抽出、整理する
2. 上記の項目に対して、それぞれのビューアがどこまで対応できているか聞き取り調査を行うとともに、ビューアで実施検証する
3. 以上の調査結果を2012年3月を目途に、どのビューアがどの要望項目に応えられるものであるか、一覧となった資料を作成、公表することを目指します。

以 上

----- 本件に関するお問い合わせ -----
下記宛にメールにてお願いいたします

E-mail : info@ebpaj.jp

日本電子書籍出版社協会について

電子書籍を制作・販売している出版社が一堂に会し、“読者の立場に立ち”“著作権者の権利保護を前提に”健全な業界の発展をめざし、2010年2月に設立した一般社団法人です。

〔協会名〕	一般社団法人 日本電子書籍出版社協会
〔所在地〕	東京都文京区音羽1-17-14 音羽YKビル8F
〔協会HP〕	http://www.ebpaj.jp/
〔設立〕	2010年2月1日
〔代表理事〕	講談社・野間省伸
〔参加出版社〕	朝日出版社、朝日新聞出版、アスキー・メディアワークス、NHK出版、エンターブレイン、学研ホールディングス、角川書店、河出書房新社、幻冬舎、講談社、光文社、実業之日本社、集英社、主婦の友社、小学館、祥伝社、新潮社、すばる舎、世界文化社、ダイヤモンド社、大和書房、筑摩書房、中央公論新社、中経出版、東京書籍、東洋経済新報社、徳間書店、日経BP社、日本経済新聞出版社、日本実業出版社、早川書房、阪急コミュニケーションズ、PHP研究所、富士見書房、扶桑社、双葉社、ぶんか社、文藝春秋、ポプラ社、マガジンハウス、丸善出版、メディアファクトリー、山と溪谷社(以上 43社 2011年12月15日時点)